

「AI時代のインフラメンテナンスとビッグデータのあり方」セミナー 開催結果 (H29.10.16)

～インフラ点検・診断の生産性向上のカギを握るデータの蓄積とその品質～

主催：インフラメンテナンス国民会議

- 革新的技術フォーラムの取組として、AI時代を迎えるにあたり「ビッグデータを扱う施設管理者や技術開発に携わる企業等に求められる視点」及び「ビッグデータ活用のための環境整備のあり方」を明らかにし、今後の企業連携や官民連携のきっかけとするためのセミナーを開催
- インフラメンテナンス分野でのAI活用の可能性や最新技術・取り組みの紹介があったほか、良質で大量のデータが深層学習に必要であること、教師データを産学官で連携して整備する必要性、AIを活用した「人の判断」支援による生産性向上の方向性等が共有された

開催概要

<プログラム>
開会挨拶、①国の動向に関する話題提供、②ビッグデータの活用求められる視点に関する特別講演、③インフラメンテナンスにおけるビッグデータ活用の最新技術紹介、④ビッグデータ活用に向けた自治体等の取り組み紹介、質疑応答

<参加者>
約500名 (Webセミナーを含む)

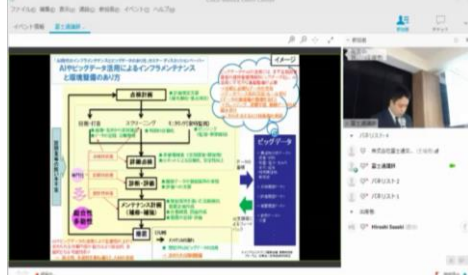
<会場>
富士通デジタル・トランスフォーメーション・センター

会場の様子



鈴木 学 氏 (国交省 総合政策局) 開会挨拶

Webセミナー 配信状況



佐藤寿延氏 (国交省 水管理・国土保全局)
「河川行政におけるビッグデータ時代の到来と課題」



石井宏幸氏 (国交省 水管理・国土保全局)
「下水道管路メンテナンスの取組と今後の方向性」



新田恭士氏 (国交省 総合政策局)
「国交省におけるインフラロボット導入の取組とAIへの期待」



若原敏裕氏 (内閣府「SIP」)
「SIPインフラにおけるAIの活用について」



古田 均 氏 (関西大学)
「AIのインフラメンテナンスへの応用—AIと「データの品格」担保—」



森田千尋氏 (宮崎大学)
「地方の道はだれがいに守っていくのか?—道守とICTによるインフラ寿命化—」



岡谷貴之氏 (理化学研究所/東北大学)
「画像認識のフロンティアとインフラ維持管理応用の可能性」



相馬知也氏 (日本電気 (株))
「AIを活用したインフラメンテナンスの取り組み」



甲斐隆嗣氏 ((株) 日立製作所)
「ビッグデータやAI活用の方策と考慮点」



吉澤尚子氏 (富士通 (株))
「デジタル革新を加速する富士通のAIご紹介」



蛭名拓也氏 ((株) グリッド)
「AIベンチャーから見たインフラ分野の魅力」



情野正彦氏 (葛飾区)
「インフラ維持管理データのあり方」



君島昭一氏 (柏市)
「柏市の道路維持管理におけるデータ活用の取り組み」



高野正克氏 (首都高速道路 (株))
「首都高のインフラマネジメントシステム『I-DREAMS』」